

amazon Kindle

2019年 4月 26日発売



2019年
【保存版】

世界薬学 探訪記

四国の全薬学部による海外薬学視察団 最新報告書

徳島文理大学 名誉学長 桐野豊(編)

日本の薬学、薬剤師は

どう変わるべきか?

欧米各国から**変革のヒント**を得る一冊

世界薬学探訪記

制作 文部科学省大学間連携共同教育推進事業「四国の全薬学部との連携・共同による薬学教育改革」
『世界薬学探訪記』電子書籍制作委員会

内容 目次

序文

第Ⅰ部 世界の薬学と日本

1. 医療と高等教育に関する基本的情報
2. 教育制度の比較
 - 2-1. 教育年限
 - 2-2. 高大接続（大学入学者選抜）
 - 2-3. 大学の構造と教育課程の位置づけ
 - 2-4. 大学の構造と教育課程の関係についての具体例
コラム 1. 米国と欧州の大学の差異
 - 2-5. 薬学教育制度
コラム 2. 実務実習の実習費について
3. 大学教育の職業的意義
コラム 3. 職業意識
4. 薬剤師の活動探訪記
 - 4-1. 日本の薬剤師には無い活動・権限
 - 4-2. 諸外国にはなぜ駅前薬局がないのか？
5. 欧米諸国の薬剤師の社会的地位はなぜか高いのか？
 - 5-1. 薬剤師の誕生と医薬分業
 - 5-2. Pharmacist-Scientist たち
コラム 4. 蘭学と薬剤師
6. 日本の薬剤師はどう変わるべきか
 - 6-1. 薬剤師の役割の変遷
 - 6-2. 薬物療法の進歩
 - 6-3. 病院薬剤師のあゆみ
 - 6-4. 薬局薬剤師のあゆみ
コラム 5. 医薬分業率の議論
コラム 6. 日本にも薬剤テクニシャンが必要？
 - 6-5. 薬剤師のこれから
コラム 7. 個人番号（マイナンバー）カードが医療保険証になるか
7. 日本の薬学教育はどう変わるべきか？
 - 7-1. 大学の構造：教員組織と教育課程の分離
 - 7-2. 薬学教育の課題

第Ⅱ部 各国視察報告

はじめに

1. アメリカ
2. カナダ
3. オーストラリア
4. イギリス
5. フランス
6. ドイツ
7. フィンランド
8. デンマーク

付録 48の欧州諸国が参加するボローニャ・プロセスと欧州高等教育圏の形成について

あとがき